

3. 業績予想の修正について

(1) 2021年4月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年5月1日～2021年10月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想（A）	3,940	130	105	36
今回修正予想（B）	4,020	210	195	△320
増減額（B－A）	+80	+80	+90	△356
増減率（％）	2.0	61.5	85.7	－
（参考）前期第2四半期実績 （2020年4月期第2四半期）	4,007	127	124	47

(2) 2021年4月期通期連結業績予想数値の修正（2021年5月1日～2022年4月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	8,430	310	280	129
今回修正予想（B）	8,500	380	365	△220
増減額（B－A）	+70	+70	+85	△349
増減率（％）	0.8	22.6	30.4	－
（参考）前期実績 （2020年4月期）	7,913	184	174	17

(3) 業績予想修正の理由

売上高につきましては、コロナ禍において営業自粛があったものの、全国的なテレワークの浸透によるエンドユーザーの新築戸建て需要や、「新しい生活様式」に対応する建築家のプラン力の需要が継続したことで、主力の高性能デザイナーズ住宅「R+house」事業を中心に好調に推移することが見込まれます。また、オンラインによる面談を増やすことで出張旅費を抑える等の、効率的な販管費の使用により、営業利益及び経常利益につきましても前回予想を上回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「1. 特別損失の計上について」に記載の通り、当連結会計年度において、第三者委員会の調査費用や、過年度決算の訂正にともなう追加監査費用等を特別損失に計上した結果、前回予想を下回り当期純損失となる見込みとなりました。

4. 配当予想の修正

(1) 2021年4月期配当予想の修正

	第2四半期	期末	合計
前回発表予想 (2020年6月12日公表)	円 銭 0.85	円 銭 0.85	円 銭 1.70
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
当期実績	—	—	—
(参考) 前期実績 (2020年4月期)	1.90	1.90	3.80

(2) 配当予想の修正の理由

当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様に対する利益配分を最重要政策の一つと認識して、収益力の強化に努め、安定した配当を継続することを基本方針として考えております。しかしながら、当連結会計年度におきましては、「1. 特別損失の計上について」に記載のとおり、当連結会計年度において、第三者委員会の調査費用や、過年度決算の訂正にともなう追加監査費用等を特別損失に計上した結果、当期純利益が大幅な損失となる見込みのため、誠に遺憾ながら、当期の業績を踏まえ配当に関しては見送らせていただくことと致しました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、不適切な会計処理をおこなった根本原因や背景を踏まえ、今後、二度と同じ過ちを犯さない様、再発防止に向けた取り組みを行い、株主や投資家の皆様、銀行、その他取引先各社様の信頼回復に誠心誠意努めてまいります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上